

別紙 1

論文審査の要旨

報告番号	甲・㊦ 第 3021 号	氏 名	鈴木 正論
論文審査担当者	主査 川添 和義 副査 野部 浩司 副査 佐藤 均		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>論文タイトル</p> <p>「Pharmacist-led intervention in the multidisciplinary team approach optimizes heart failure medication (心不全多職種チームにおける薬剤師主導による薬物治療適正化)」</p> <p>本論文は、心不全治療の薬物療法において薬剤師の介入が薬剤の適正利用や薬物治療の遵守率にどのような影響を及ぼすかについて、コホート研究から明らかにしたものである。</p> <p>研究対象は亀田総合病院循環器内科に心不全増悪にて入院した患者で、2012 年 4 月から 1 年間を介入前群、心不全チームによる介入を開始した 2013 年 4 月からの 1 年間を介入後期とした。主要評価項目は未処方の患者に対する ACE 阻害薬／ARB とベータ遮断薬の処方率、副次評価項目としてガイドラインにおける不適切な薬剤の処方率と在院日数とした。</p> <p>薬剤師が介入を行った結果、主要項目において改善（ベータ遮断薬の新規導入）または改善傾向（ACE 阻害薬／ARB 処方率）が見られた。また、不適切な薬剤の処方率は介入前群では入院時から退院時で変化が認められなかったのに対して、介入後群では有意な改善を示した。一方、在院日数については、介入前後の群で差は認められなかった。以上のことから、薬剤師による入院早期からの積極的な介入は、ベータ遮断薬など適切な薬剤の安全な導入と同時に不適切な処方の改善に寄与することが明らかとなった。</p> <p>なお、学位論文に関する質疑にも的確に回答することができていた。</p>			

(主査が記載、500 字以内)